



設計工学関連企業各位

公益社団法人日本設計工学会では、2006年度より、企業あるいは研究機関の設計者を表彰する武藤栄次賞優秀設計賞を本会に創設いたしました。本賞は元武藤工業株式会社専務取締役武藤栄次氏より本会に寄贈された寄付金を基金とし、その篤志に応えるべく、企業あるいは研究機関において、優れた製品あるいは研究装置を設計した個人あるいは団体に対し、その功績を顕彰するために表彰します。

とくに本賞は、機械製品の設計開発の成果を広く公開するためにご活用いただきたく、関連する企業の応募を歓迎します。本賞の特徴は以下のとおりです。

○申請は簡単・容易

応募はA4判用紙数ページの申請書に設計の工夫・特徴・成果を記し、設計の概要が理解できる簡単な設計図を添付して本会事務局にお送りいただくのみで極めて容易です。

※申請書は本会公式WEB：<http://www.jsde.or.jp/japanese/index.html> の学会賞ページから電子ファイルをダウンロードできます。申請締切は2015年12月31日です。

○学術ではなく設計の工夫・社会の認知度を評価

受賞者は「武藤栄次賞優秀設計賞審査委員会」が審査委員会規程に基づいて、

- (1) 独創性、(2) 設計における重要な工夫、
- (3) 社会的な波及効果、(4) 特許・実用新案の取得

を審査基準として受賞者を決定します。表彰件数は毎年最大5件です。

○表彰と設計作品の紹介

受賞者の発表および表彰式は毎年春に開催される総会にて行い、賞状および賞牌（サンプル写真参照）の授与をもって表彰します。また、受賞した設計作品は本会春季大会研究発表講演会会場で実物展示あるいはポスター展示を行うとともに、本会会誌に掲載されます。



武藤栄次賞優秀設計賞賞牌

本賞の詳細については本会事務局 E-mail：jimukyoku@jsde.or.jp に遠慮なくお尋ねください。各位の積極的な応募をお待ち申し上げます。また、併せて本会入会をご検討いただけますと幸いです。

過去の受賞者

年度	受賞者組織	受賞設計作品
2014	東海大学, 富士機械工業 (株)	知能化された機能性プラスチックフィルム巻取装置ウィンドスターの開発
2013	中村留精密工業 (株)	タレット型複合加工機「NTJ-100」の開発
	ヤンマー (株), 湘南工科大学	吐出圧力脈動を利用した高効率高信頼性マルチベーン式圧縮機
2012	東洋製罐, 東海大学	I H対応容器
2011	京都大学	変速時の駆動力抜けをゼロにし、変速中でも加速可能かつ正確な回転伝達可能な低燃費高加速型常時伝達変速システム
2010	菊池製作所, 東京工業大学	2重球面ジョイントを有するパラレルメカニズムを用いた真空環境に対応した高精密ステージ
2009	千葉工業大学未来ロボット技術研究センター	脚一車輪 移動形態可変型ビークルロボット：Halluc II
2008	西研グラフィックス (株), 荒木システム	数値制御式 電気アプセッター
	三菱電機 (株) 先端技術総合研究所	人間共存型作業補助アーム PAS-Arm
2007	テクノエイト, 武蔵工業大学	超音波チューブシール装置
	金沢大学, キンキクレスコ	知的ピッチングマシンおよび制御システム
2006	埼玉大学	没入型仮想共有環境システム サイバーアシスト・マイスター・ロボット (CAMRobot)
	東京理科大学, 関東学院大学, 日本精工	多自由度揺動軸受